

2021年10月20日

## 企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による定期会合の開催

企業会計基準委員会  
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会（ASBJ）と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2021年10月18日と19日に定期会合を実施しました。この会合は、高品質でグローバルな会計基準の開発へ向けて連携を深めるために、ASBJとFASBが年に2回定期的に行っているもので、今回で30回目となりました。前回と同様、新型コロナウイルス感染症の影響により、ビデオ会議の形式で実施されました。

今回の会合では、ASBJ及びFASBの代表者は、お互いの活動の最新の状況を確認するとともに、両基準設定主体が共通の関心を有している項目である「のれんの会計処理」、及び「金融商品の会計処理」等について議論を行いました。

ASBJとFASBは、引き続き意見交換を続けていく予定であり、次回の会合は2022年の前半に開催する予定です。

小賀坂 敦ASBJ委員長は次のように述べています。

「今回の定期協議も、新型コロナウイルス感染症の影響により、ビデオ会議の形式で実施されることになったが、2日間にわたり、現在、国際的な議論となっており両ボードの関心の高い「のれんの会計処理」などを含む、幅広い論点について建設的な議論を行うことができた。本定期協議は2006年に開始し今回で30回目となるが、長期間にわたりグローバルな会計基準の質の改善のために議論してきたことを感謝しており、今後も継続していきたい。」

リチャード・ジョーンズFASB議長は次のように述べています。

「過去15年以上にわたり、ASBJとFASBの年2回の会合は、グローバルな資本市場のすべての利害関係者に利益をもたらす、比較可能で高品質な会計基準を追求する上で、重要な役割を果たしてきた。最近のリースやアジェンダ協議のコメント募集の議論では、両ボードがより良い情報に基づいた意思決定を行うために役立つ多くの貴重な知見が得られた。この問題やその他の重要な会計上の問題について、リサーチと思慮深い洞察を共有してくれた小賀坂氏、川西氏、ASBJのボードとスタッフに感謝する。今後もパートナーシップを継続していくことを楽しみにしている。」

## 企業会計基準委員会（ASBJ）について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJ に関する詳細な情報は、ホームページ (<https://www.asb.or.jp/jp/>) をご参照いただきたい。

## 米国財務会計基準審議会（FASB）について

FASB は、1973 年に設立された、一般に認められた会計原則（GAAP）に従う公開企業、非公開企業及び非営利組織のために財務会計及び財務報告の基準を設定する独立の民間の機関であり、コネチカット州ノーウォークに拠点を置いている。FASB は、米国証券取引委員会（SEC）により、公開企業のための指定された会計基準設定主体として認識されている。FASB の基準は、各州の公認会計士審査会及び米国公認会計士協会（AICPA）を含む、その他の多くの組織により権威のあるものとして認識されている。FASB は、投資家その他の財務報告書の利用者に有用な情報を提供する財務報告を促進することを意図した、透明性があり、誰でも参加できるプロセスを通じて、財務会計の基準を開発し、公表している。米国財務会計財団（FAF）は、FASB の支援及び監督を行う。詳細な情報は、ホームページ ([www.fasb.org](http://www.fasb.org)) をご参照いただきたい。